

今年には戦後75年です。戦後の昭和期は、高度経済成長期からバブルの時代であり、建築物については質より量の時代であったと言われています。しかし、改めて振り返ってみますと、昭和の時代の建築物の中には、施主・設計者・施工者・職人等の熱意や熟練された技術、時代を反映するデザインが見られ、学術的・芸術的・文化的に価値の高いものが多くあることがわかります。

(公財) 福武教育文化振興財団  
教育文化活動助成事業



(一社) 日本建築学会  
中国支部 岡山支所  
岡山近代建築研究会

この建築展では、岡山県内に現存する戦後の昭和期に建築された50数件の素晴らしい建築物を写真と解説でご紹介いたします。ぜひ足をお運びください。

【注】この建築展で展示している写真は、昔の写真ではなく、現在の建築物の姿です。



岡山県立記録資料館保存資料より

昭和32年。当時の三木行治岡山県知事は、新庁舎を建設するにあたって『県民の家』を創りたいと希望しました。設計者である建築家前川國男は中央をピロティとして、誰でもが通り抜けられるデザインなどでそれに応えました。三木知事は、完成した岡山県庁舎を多くの県民に見てもらおうため『岡山県庁舎完成記念岡山産業文化大博覧会』を開催しました。県庁舎は、今でも大切に使われています。



## 『戦後の昭和期における岡山の近現代建築』展

■と き：令和2年7月7日(火)から 12日(日)まで  
午前9時から 午後5時まで  
ただし、12日(日)は午後4時まで

入 場 無 料

■と ころ：岡山県天神山文化プラザ(岡山市北区天神町8-54)  
地下1階 第2展示室(小室)

★ご希望の方には、岡山・倉敷の近現代建築を紹介した散策マップ『おかやま建築さんぽ・くらしき建築さんぽ』をさしあげます。  
※数に限りがありますので、ご了承ください。



《問い合わせ先》

一般社団法人日本建築学会中国支部岡山支所事務局  
担当：有森(TEL 090-7895-1109)

主 催：一般社団法人日本建築学会中国支部岡山支所 岡山近代建築研究会  
後 援：一般社団法人岡山県建築士会